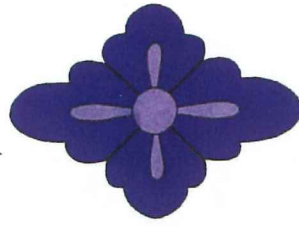




菩提樹

佛さまに育てられる年輪

第21号 令和5年4月発行



編集・発行
正法寺

山口市江崎2710

TEL
083-989-2213

FAX
083-989-5339



写真:コロナ禍の中、三年ぶりに開催された山口教区仏教讃歌のつどい。コール券陀利華出演の様子。

今年、親鸞聖人ご誕生八五〇年・立教開宗八〇〇年の記念の年となります。ご本山である西本願寺では、三月二十九日～五月二十日の約二ヶ月間にわたって慶讃法要が厳修されています。このたびの慶讃法要では、感染症対策がとられ、参詣者の人数制限が設けられています。たくさんの方々のご縁に遇えないのが残念です。

立教開宗というのは、仏教の中に、浄土真宗という新しい宗派が確立されたことを意味します。約一五〇〇年前にお釈迦様によって語られた仏教は、インド、中国、日本と伝わってくる中で、たくさん宗派が確立されました。

宗派の確立には、お釈迦様のお心を正しく受け継がれた宗祖と呼ばれる高僧方が存在します。普通、宗祖という方には、お書きになった書物の中に、新しい宗派を確立しようという意志がみられます。しかし、親鸞聖人に限っては、その意志がみられないところに大きな特徴があるのです。

浄土真宗の立教開宗は、『顕浄土真実教行証文類』というお書物の完成をもって確立されました。一般には『教行信証』という書名で知られている浄土真宗の根本聖典です。

『教行信証』は、当時、法然聖人が説かれたお念仏のみ教えが、仏教の道理から外れる邪道であるという批判が巻き起こる中、お念仏のみ教えが間違いなく仏教であることを証明するために著わされたものでした。そこには、立教開宗の意図はなく、ただお念仏の真实性を追求する親鸞聖人のひたむきな求道心が満ちているだけなのです。

浄土真宗というみ教えは、八〇〇年という長い歴史の中で、数え切れない人々の人生の上に新しい意味を開いてきました。自らが宗祖となる意志のなかった二人の純粹な人間が紡ぎ出した言葉が、多くの人々の人生を変えてきたのです。ここに浄土真宗というみ教えの真实性と、私達の宗祖親鸞聖人の尊さがあると思います。

世情が混沌とする中、お迎えする記念すべき年です。本当に敬うべきものをそれぞれが確認し、お念仏申す中、丁寧な日々の暮らしを頂いていきましょう。

(正法寺住職)

一歩ずつ前へーコロナ禍に響くお念仏ー

コール芬陀利華

昨年五月から三年ぶりに活動が再開されました。男女混声合唱団です。女性会員も男性会員も絶賛募集中です！

毎月、第二第四土曜日の十六時から二時間程度本堂で練習しています。定期的にしっかり声を出すと、心身共に元気になりますよ。毎月発行の正法寺新報に練習予定を掲載しています。興味がある方、いつでも練習をのぞきにきてください。一緒に仏様のお心を歌に乗せて響かせましょう。



練習風景。いつも軽い体操から始まります。肩こりも解消します。



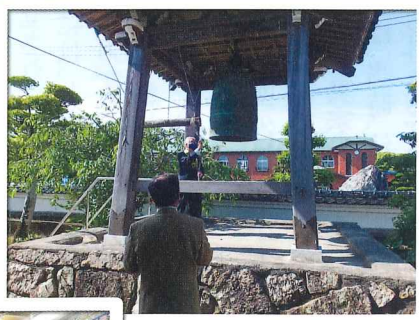
10月30日開催の山口教区仏教讃歌のつどいに出演後の一枚。歌いきった後は、自然と顔がほころびます。

◆YouTubeで山口教区仏教賛歌の集いの様子が配信されています。検索してみてください。



3年ぶりに
仏様のお心を表わす
六根色の幕が本堂を
飾りました。

法要開始の1時間前、
法座当番による
梵鐘の音が、春の青空に
響き渡りました。



御講師は、
大阪市より若林真人先生が
お越しくされました。
親鸞聖人のご誕生を
慶びながら、如来様のお
慈悲にどっぴりと
浸かりました。

昨年の五月に、三年ぶりに宗祖降誕会がお勤めされました。お楽しみの餅撒きや初参式は中止となりましたが、参詣者の皆様と共に、親鸞聖人のご誕生を慶ぶ尊い一日となりました。

5/21

宗祖降誕会

9/3 第38回正法寺公開講演会

三年ぶりに正法寺公開講演会が開催されました。東京大学で仏教学を研究され、『本当の仏教』シリーズの著者でもある山口県立大学教授の鈴木隆泰先生を御講師にお迎えしました。感染症対策をとり、一般には公開せず、正法寺門徒のみの案内となりました。



鈴木先生のユーモアを交えた楽しいお話に、思わず引き込まれていきました。



「お釈迦様の佛教」という演題で、とても熱のこもったお話をしてくださいました。



コロナ禍にも関わらず、たくさんの皆様がお参りくださいました。

今年の公開講演会の案内

今年の公開講演会は、九月二日(土)午後七時より開催予定です。御講師は、カルトからの脱会支援活動をされている真宗大谷派玄照寺住職の瓜生崇先生です。

10/23

山口南組親鸞聖人ご誕生八五〇年 立教開宗八〇〇年記念法要

三年ぶりに山口南組親鸞聖人讃仰会が本願寺山口別院を会場に開催され、この度は、親鸞聖人ご誕生八五〇年・立教開宗八〇〇年記念法要として厳修されました。御講師に龍谷大学名誉教授で本願寺派勧学の浅田恵真和上がお越しくださいました。また、御法話の後には、ジャン・シヨウエン先生による二胡のコンサートも開かれました。



法要のお勤めでは、正法寺住職が導師を務めました。



久しぶりに、たくさんの参詣者の中で法要が勤まりました。



浅田和上の御法話は、とても有り難いものでした。



二胡の音色に癒やされました。

喚鐘の撞木を御報謝

御法座や法要が始まる時、本堂に鳴り響く喚鐘の音をご存じでしょうか。喚鐘の音を聞くと、身が引き締まり、法要に臨む心の状態が整います。激しく打つ喚鐘は、撞木がすぐに破損してしまいます。この度後寺内東の徳田正則総代が、すぐには破損することのない頑丈な撞木を喚鐘用に手作りで御報謝くださいました。



音も重厚になりました。御法座にお参りをし、喚鐘の響きの中に身を浸してみましょ。



一つの木から丁寧にノミで削って作っていただきました。



とても重厚で上品な撞木を御報謝くださいました。



撞木の形に削り出すのには、相当なご苦労があったことが想像されます。

寺族アルバム



◎長女・如恵(ゆきえ)
三月に市立川西中学校を卒業し、四月から兄と同じ県立山口高校に入学しました。新しい友人も増え、楽しい高校生活を満喫しています。



◎新発意・法響(かずなり)
県立山口高校の三年生になりました。
部員四人の剣道部ですが、和気あいあいとした雰囲気の中にも、引退試合にむけて猛稽古に励んでいます。

- 編集委員**
- 岩脇 利明
 - 石田 和代
 - 西村 和久
 - 金光けいこ

編集後記

今年、コロナ禍の中、少しずつ活動が再開し始めたお寺の様子を中心に編集いたしました。今年度は、さらに活動の幅が広がり、コロナ前の状況に戻れることを願っています。コロナ禍の中、お寺から足が遠のいてしまった方も、もう一度一緒に、お寺の山門をくぐる一歩を踏み出していきましょう。

正法寺ホームページ <http://www.shouhouji.com/>
 「**山口市正法寺**」で検索して下さい。
 毎月更新しています。過去の菩提樹もすべて閲覧できます。

親鸞展に行ってみませんか?
 親鸞聖人の直筆のお書物などの国宝11件、重要文化財約70件を含む過去最大の出展件数!
 この機会にしか出会うことのない親鸞聖人の魅力が満載です!
会期 令和5年3月25日(土)~5月21日(日)
場所 京都国立博物館
観覧料 一般1800円
 大学生1200円
 高校生700円
 中学生以下無料
 ※お寺にお声をかけていただくと、少し割り引きができます。